

# 木部

公共仕様No.  
DNT-改修・13-1-04

## 7章13節：木部ラッカーエナメル塗り(LE) 木部ラッカーエナメル塗り

### 使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 社内規格 <sup>※1</sup> ニトロセルロースラッカー	DNTラッカーECO	F☆☆☆☆ (自主管理登録申請中)	ラッカーシンナーECO

※1: JIS K 5531の性能試験項目には社内試験で合格していますが、当社ではJIS K 5531の新JISを取得していません。

### 塗装仕様

表7.2.1 木部の下地調整【RA種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	—			スクレーパー、研磨紙等により、全面除去する。
2 汚れ、付着物除去	—			木部を傷つけないように除去し、油類は溶剤等でふき取る。
3 研磨紙ざり	研磨紙P120～220			露出素地面、既存塗膜面を研磨する。
4 節止め	JASS 18 M-304	木部下塗り用調合ペイント	合成樹脂	節及びその周囲にはけ塗りを行う。
	セラックニス			
5 穴埋め	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	割れ、穴、隙間、くぼみ等に充填する。
6 研磨紙ざり	研磨紙P120～220			穴埋め乾燥後、全面を平らに研磨する。

(注) 1.木部に新規に塗装を行う場合は、RA種(不透明塗料塗りの場合)又はRB種(透明塗料塗りの場合)とし、工程1を省略し、工程2と3の間にやに処理を行う。

2.やに処理の面の処理は、やにを、削り取り又は電気こて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。

3.ラワン、しおじ等導管の深いもの場合は、必要に応じて、工程2ののちに塗料製造所の指定する目止め処理を行う。

4.合成樹脂エマルジョンパテは、外部に用いない。

5.JASS 18 M-304は、日本建築学会材料規格である。

6.工程4 節止めにおいて、JASS18 M-304は合成樹脂調合ペイント及び水性系ペイントに適用し、それ以外はセラックニスとする。

表7.13.1 木部ラッカーエナメル塗り【B種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	ウッドシーラー <sup>※</sup>	クリアー	—	適量	スプレー	0.10	2時間以上
2 研磨紙ざり	研磨紙P220～240						清掃後
3 中塗り (1回目)	ラッカー <sup>※</sup> サーフェイサー	クリアー	—	適量	スプレー	0.14	2時間以上
4 中塗り (2回目)	ラッカー <sup>※</sup> サーフェイサー	クリアー	—	適量	スプレー	0.14	2時間以上
5 研磨紙ざり	研磨紙P320～400						清掃後
6 上塗り (1回目)	DNTラッカーECO	各色	—	60～100	スプレー	0.08	40分以上
7 研磨紙ざり	研磨紙P320～400						清掃後
8 上塗り (2回目)	DNTラッカーECO	各色	—	60～100	スプレー	0.08	40分以上

(注) 1.素地ごしらの種別は、塗料その他の欄による。

※ ウッドシーラー、ラッカーサーフェイサーは弊社では製造しておりません。ご了承ください。

#### 7.2.2 木部の下地調整

木部の下地調整は、表7.2.1により、種別は、特記による。特記がなければRB種とする。

#### 7.13.2 木部ラッカーエナメル塗り

木部ラッカーエナメル塗りは表7.13.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

#### 注意事項

\* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

\* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。